

# 河辺林通信

建部北町の森から

2015年4月号 No.204

キクザキイチゲ 保全を行ったことで可憐な花が復活。春を告げる妖精です

## 遊林会のこれまでとこれから

4月に入り、新年度のスタートですが、遊林会も昨年10月に法人化し、今年度より新生遊林会もスタートです。今まで以上に里山保全と環境学習に力を入れていきます。また、魅力的な活動をすすめることで、多くの方に会員になっていただき、より多くの方から応援をしてもらえるようにしていきたいと思えます。

元々、遊林会は1998年に愛知川の河辺林を守るため活動を始めました。河辺林は、かつて水害防備や薪柴を採取する場として大切にされてきましたが、時代の流れとともにその役割もなくなり、開発で失われたり、管理が放棄されたりして、かつての豊かな姿を失っていきました。そうした中、建部北町にある河辺林は、住民のかたに見守られながら、昔の姿をとどめてきました。ただ、薪柴を採るなどの利用がなされなくなったため、アカマツ林だった場所が、常緑樹や竹林に覆われて、かつての豊かな里山の姿は見られなくなってしまいました。



←森を明るくすると様々な植物が生えてきます。木や草はできるだけ残し、ササだけをカマで刈ります

保全をした森には →  
いきものがいっぱい  
すんでいます。  
特にカナヘビは  
子どもたちに大人気



そこで、この貴重な場所を保全するために、市民ボランティア団体「遊林会」が活動を始めました。

「木を伐って森を守る」というスローガンのもと、繁りすぎた常緑樹や、竹を伐り、森を明るくしていきました。

その森を旧八日市市が建物や道を整備し、2002年に河辺いきものの森をオープンしました。それと同時に遊林会は市から、環境学習の委託を受け、年間約8,000人の子どもや大人を対象に環境学習や、自然体験活動も行うようにもなりました。



「継続は力なり」という言葉の通り、17年間、保全活動をしてきたおかげで、今までは見られなかった植物が復活したり、多くのいきものが生息しています。学校の授業で森を知ってもらい、多くの人にも利用され、にぎやかな場所になりました。



これからは、河辺いきものの森の活動だけでなく、東近江地域や滋賀県の自然にも目を向け、より多くの人々が自然を感じる機会や場所の提供をしていきたいと考えています。今まで森での活動を通じて培ってきたものを地域に還元し、人も自然（里山）も元気になる活動を行っていきます。

皆様のご支援、どうぞよろしくお願いいたします。

## ●3月の作業だより

### 第2土曜日（3月14日） 27人

1・2月と雪で、今月は雨でした。

① **竹きり台作り** シェルター改修で出た材を使い、子供たちの工作で使う、竹きり台を作成しました。

② **駐車場の補修** 第一駐車場の入り口のへこみを、アスファルト（のようなもの）を流し込み、固めました。

③ **落ち葉かき** お昼から晴れ間が見れたので、今シーズン最後の落ち葉かきを行いました。シュンランが顔を出し始めています。

④ **お昼ご飯作り** 料理長特製の炊き込みご飯に温か豚汁に春野菜。今月も干し柿など差し入れもいただきました。ありがとうございます。

### 第4水曜日（3月25日） 15人

朝は雪が降って薄く積もっていた森ですが、活動が始まる頃には晴れ間が見えてきました。枯れたスギの伐採と、散策路に傾いていたコナラの伐採、シェルターの改修を行いました。お昼は、ちらし寿司にかき玉汁、ブリを炊いた物、2種のサラダと美味しくいただきました。

### 木ままクラブ（3月 5日） 18人 （3月19日） 13人

3/5 社協のシニア世代の仲間作りの方と活動しました。ササ刈りと低木常緑樹の伐採を行いました。

3/19 枯れたスギの木の伐採を行いました。

## 4月の活動日

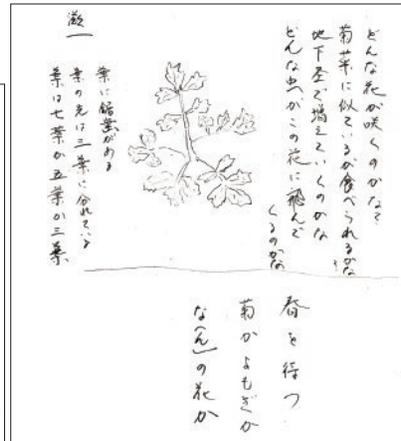
4/11 (土)	ササ刈り 入口看板作成 シェルター改修
4/16 (木)	ササ機械刈り シェルター改修
4/22 (水)	ササ機械刈り 河辺の森駅 土留め補強

朝 9:00～（遅刻可）

第2土曜日は、9:00より  
1時間ほど観察会を行います

## 3月・観察会

今回は自然物をひたすらよく観察し、描き、その観察を通して感じたことを俳句や詩で書いてもらう観察会です。「俳句なんて書けるかいな～」という声を尻目に始めましたが、個性あふれる絵と歌が満載！ちょっとしか紹介できないのが残念ですが、ご覧ください！



## 遊林会の新たなミッション

法人化にあたり、様々な方に話を伺い、議論を重ねてきました。そんな中で、これからの新しい方針が大きく2つ出てきました。

1つめは東近江全体の自然を守ること。河辺いきものの森の保全活動が継続される一方で、他の東近江の里山が荒れていく現状があります。

そして、それをどうにかしたいと考える地域の人達があります。そんな里山をこれまでの遊林会の実績を活かして、地域の人たちと一緒に豊かな地域の自然を取り戻すお手伝いをしていきたいと思っています。

2つめは、より子どもに寄り添う体験活動の実施です。これまでは学校の受け入れが中心で、一日だけ森を訪れ、楽しい体験をして終わり、という形がほとんどでした。

一方で、年間を通じて活動するモリイコ事業を続けるなかで、四季の自然に触れ、子どもが自然のなかで活動し、居心地の良さを感じることが分かってきました。また、森での活動を続けていくことで、子どもが成長していく姿に、保護者から感謝の言葉と、事業継続の要望を多くいただいております。そして、そんな活動ができるのは、豊かな森と経験豊かなスタッフのいるこの森でしかできない、という言葉もいただいております。声援に応え、さらに充実した活動を行っていきます。

## 編集後記

3月14日に、法人として第一回目の理事会を開き、今年度の決算、そして来年の活動内容を話し合いました。また、これから遊林会の活動でしていきたいこと、やってみたいことをなどを話し合い、とても盛り上がりました。今後、反映していきたいと思っております 担当 吉岡・泉

## 【発行者】

特定非営利活動法人  
里山保全活動団体 遊林会  
代表理事 井田 三良

〒527-0003  
滋賀県東近江市建部北町531  
河辺いきものの森内  
電話:0748-20-5211  
メール:ikimono@e-omi.ne.jp